

宮崎雅子・江連麻紀・きくちさかえ
3人の写真家による
「ハ・ジ・マ・リ」
バースフォト3人展

●会期

9月1日(火)～6日(日)

●時間

[1～3, 6日] 11:30～18:00

[4, 5日] 11:30～15:30

●会場

カフェスロー・ギャラリー

(東京都国分寺市東元町2-20-10)

●トークイベント

「お産のちから、写真のちから」

9月4日(金)18:00開場, 18:30

開演, 20:00終了予定

◎参加費 1000円+ドリンク代(食事可)

◎トークイベントは予約制です(先着順)。下記ホームページのメールフォームからお申し込みください。

●問い合わせ先

事務局

TEL: 090-7737-4817

e-mail: nagi10sk@yahoo.co.jp

HP: <http://ws.formzu.net/fgen/S43546193/>

アタッチメントと精神病理
講習会

●日時

9月20日(日)～22日(祝)

9:00～16:00

●会場

東京医科歯科大学3号館18階

保健衛生学講義室1

(東京都文京区湯島1-5-45)

●講師

Patricia M. Crittenden 博士(家族関係研究所所長)

●内容

長年にわたってアタッチメント(愛着)研究をリードしてきた Crittenden 博士は「アタッチメントと適応の力動-成熟モデル(DMM)」という統合的人格発達理論を提唱しています。本講習会では、この新しいアタッチメント理論の全体像が学べます(逐次通訳あり)。

●参加費

1日参加 2万円, 2日参加 3万5000円, 3日参加 4万5000円, 学生1日につき5000円

●申し込み期間

9月4日(金)まで。

●申し込み方法

e-mailにて、下記の乳幼児保健学会事務局までお申し込みください。その際、メール本文に氏名、所属、職種、連絡先(e-mailアドレス)をご記入ください。申し込み後、振込み先をお知らせしますので、参加費のお振込みをお願いします。

●問い合わせ先

乳幼児保健学会事務局

〒113-8510 東京都文京区湯島

1-5-45 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 小児・家族発達看護学内

TEL: 03-5803-0159

e-mail: jaih.cfn@tmd.ac.jp

HP: <http://www.tmd.ac.jp/gradh/cfn/jaih/home.htm>

日本母乳哺育学会
勉強会

●日時

10月3日(土)9:05～11:45

●会場

連合会館

(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

●テーマ

卒乳・断乳-現状を理解し誤解を解く

●プログラム

◎基調講演「いま“卒乳・断乳”がおかれている現状」本郷寛子(MSW)

◎シンポジウム「自然人類学から見た卒乳・断乳」葛谷匠(京都大学大学院理学研究科), 「妊娠中の授乳と流産」石井廣重(石井第一産科婦人科クリニック), 「う蝕と卒乳」井上美津子(昭和大学歯学部小児成育歯科学講座), 「卒乳・断乳-現場での実際」宮下美代子(みやした助産院)

●参加費

会員1万円, 非会員1万2000円, 学生無料(学生証提示のこと)
第30回日本母乳哺育学会・学術集会の1日目に行ないますので、参加費は学術集会の参加費に準じます。

●問い合わせ先

第30回日本母乳哺育学会事務局

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 順天堂大学医学部小児科内

TEL: 03-3813-3111

HP: <http://bonyu30.umin.jp>

第6回日本健康運動看護
学会学術集会

●日時

10月3日(土)9:30～17:00

●会場

文京学院大学・本郷キャンパス
(東京都文京区向丘1-19-1)

●テーマ

看護が担う生涯を通じた身体活動への支援とは

●プログラム

◎会長講演「看護に求められる身

情報お待ちしています。

告知したいイベント、セミナーなど編集室にお寄せください。開催日の約2か月前にFAX、郵送、e-mailなどでお送りいただけると幸いです。
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 医学書院「助産雑誌」編集室/FAX.03-5804-0485/e-mail.josan@igaku-shoin.co.jp

体活動支援に伴う能力」横田素美
(文京学院大学保健医療技術学部
看護学科教授)

◎特別講演「姿勢と筋活動の関連
性」福井勉(文京学院大学保健医
療技術学部理学療法学科教授)

◎シンポジウム「生涯を通じた身
体活動への支援—看護への期待」
露木和夫(小田原循環器病院生理
学研究室室長), 尾形珠恵(東海大
学医学部基盤診療学系健康管理学
客員研究員), 黒田恵美子(健康体
力づくり事業財団理事/日本健康
運動指導士会理事), 渡會公治(帝
京平成大学大学院健康科学研究科
教授)

◎公開講座

◎15:30~17:00

◎テーマ「女性の美と健康を支え
るペリネの保護について—フラン
ス発・ガスケアプローチおよびペ
リネのリハビリテーションを中心
に」シャラン山内由紀(Institut de
Gasquet コーディネーター, 助産師)

◎一般の方も参加可能

◎先着300名(一般100名, 学術
集会参加者200名)

◎参加費無料

◎申し込み方法

氏名・人数など必要事項を記入の
うえ, 下記, 学術集会事務局へ
メールにてお申し込みください。

◎問い合わせ先

学術集会事務局

〒113-8668 東京都文京区向丘
1-19-1 文京学院大学保健医療技
術学部看護学科内

TEL: 03-5684-4140

e-mail: jasfn6@bgu.ac.jp

第31回日本分娩研究会

◎日時

10月15日(木)13:00~17:00

◎会場

「マリオス」盛岡市民文化ホール
小ホール

(岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1)

◎テーマ

安全・快適・満足な分娩を目指し
て

◎プログラム

◎教育講演I「妊婦と感染症(サ
イトメガロウイルスなどを中心
に)」金子政時(宮崎大学産科婦人
科准教授), 「これから開業する助
産師へのアドバイス」伊藤朋子(と
もこ助産院院長)

◎ワークショップ「安全な分娩を
目指して」石川紀子(愛育病院外
来師長), 福島裕子(岩手県立大学
看護学部教授), 大浦訓章(東京慈
恵会医科大学附属病院総合母子健
康医療センター産婦人科), 金山
尚裕(浜松医科大学産婦人科教授)
ほか

◎参加費

一般5000円, 学生3000円

事前登録は行ないません。研究会
当日に, 受付で参加費をお支払い
ください。

◎問い合わせ先

学術集会事務局代行

株式会社M's企画

〒104-0061 東京都中央区銀座
1-27-8 セントラルビル703号

TEL: 03-6868-3704

第56回日本母性衛生学会 総会・学術集会

◎会期

10月16日(金)~17日(土)

◎会場

◎「アイーナ」いわて県民交流セン
ター

(岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1)

◎「マリオス」盛岡市民文化ホール

(岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1)

◎テーマ

つないでいこう未来への母性医療
—イーハトーブからのメッセージ

◎プログラム

◎会長講演「母性医療, イーハトー
ブから未来に伝えていくべきも
の」福島明宗(岩手医科大学医学
部教授)

◎教育講演「災害医療からみた母
性医療」(仮)眞瀬智彦(岩手医科大
学医学部教授), 「オキシトシンが
母性愛に及ぼす影響」(仮)西森克
彦(東北大学脳科学センター教授)

◎シンポジウム「出生前診断・検
査と母性医療」

ほか

◎参加費

会員1万2000円, 学生5000円,
非会員1万5000円

◎問い合わせ先

学会事務局

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸
19-1 岩手医科大学医学部産婦人
科学講座内

TEL: 019-651-5111(2344)

FAX: 019-622-1900

第17回 看護国際フォーラム

◎日時

10月31日(土)12:30~17:00

◎会場

別府ビーコンプラザ 国際会議場
(大分県別府市山の手町12-1)

◎テーマ

看護職を惹きつける魅力ある病院
づくり

◎プログラム

講演「看護職の専門性向上—マダ
ネットホスピタルからの発信」

ポーリーン・J・エイブラハム(アメ
リカ合衆国ミネソタ州メイヨークリ

ニック 看護教育スペシャリスト、
アウグスブルク大学准教授)

ほか

●参加費

一般 2000 円，学生 500 円，同時
通訳用レシーバーは別途 1000 円

●申し込み期間

10 月 16 日まで(定員に達した場
合は，締め切る場合あり)

●申し込み方法

下記の必要事項を明記のうえ，
メールまたは往復ハガキにてお申
し込みください。氏名，所属，同
時通訳用レシーバー使用の有無，
メールアドレス(返信ハガキの返信
用には送付先を記入してくださ
い)。折り返し受付結果を連絡し
ます。

●問い合わせ先

看護国際フォーラム事務局
〒870-1201 大分県大分市大字廻
栖野 2944-9 大分県立看護科学
大学内
TEL：097-586-4300
e-mail：forum2015@oita-nhs.ac.
jp

第 11 回 日本乳がん看護研究会

●日時

10 月 31 日(土)9：55～16：30

●会場

日本教育会館 8 階 第 1 会議室
(東京都千代田区一ツ橋 2-6-2)

●テーマ

乳がん患者の生活を支え，明日に
つなげる看護

●プログラム

◎教育講演 1「乳がん治療にかか
わる食と栄養について」佐藤秀美
(料理栄養研究家)

◎教育講演 2「乳がんの経済的リ
スクに備えるーがんになったとき

の賢いお金の活用法」黒田尚子
(ファイナンシャルプランナー)

◎一般演題(口演)

◎ケースカンファレンス

ケース 1「若年乳がん患者へのか
かわり」，ケース 2「再発乳がん患
者へのかわり」

●参加費

◎事前払込み

会員 4000 円，非会員 5000 円

◎当日支払い

会員 5000 円，非会員 6000 円

◎会長

西弘美(千葉県立がんセンター)

◎定員

250 名(要事前申し込み)

●申し込み期間

10 月 16 日まで。先着順。

●申し込み方法

会員・非会員とも，必ず「こく
ちーず」内のサイト([http://koku-
cheese.com/event/index/257722/](http://koku-cheese.com/event/index/257722/))
から申し込みをお願いします。詳
細は下記ホームページをご参照く
ださい。

●問い合わせ先

第 11 回日本乳がん看護研究会事
務局

〒260-8672 千葉県千葉市中央区
亥鼻 1-8-1 千葉大学大学院看護
学研究科 認定看護師教育課程内
TEL・FAX：043-226-2783

e-mail：info@jabcn.jp

HP：http://www.jabcn.jp

第 12 回日本周産期 メンタルヘルス学会学術集会

●日程

10 月 31 日(土)～11 月 1 日(日)

●会場

自治医科大学地域医療情報研修セ
ンター

(栃木県下野市薬師寺 3311-1)

●テーマ

周産期メンタルヘルスケアー過
去・現在・未来

●参加費

正会員 3000 円，臨時会員 4000
円，学生 1000 円

●プログラム(予定)

◎会長講演「論文書き方コツのコ
ツ：まずは“それ”を言ってしま
おう！一周産期メンタルヘルスケ
ア論文作成を例にして」松原茂樹
(自治医科大学産科婦人科学講座
教授)

◎教育講演「向精神薬の乳汁移行
と母乳育児支援」伊藤直樹(帝京
大学医学部附属病院小児科講師／
妊娠と薬情報センター)

◎特別講演①「周産期精神医学の
過去・現在・未来」岡野禎治(日
本周産期メンタルヘルス学会理事
長)

◎特別講演②「母親の愛情深い養
育が，乳幼児の脳の健全な発達に
不可欠であるーResilience を身に
着ける」木下勝之(日本産婦人科
医会会長)

◎シンポジウム①「周産期メン
タルヘルスにおける多職種連携の充
実に向けてー各職種からの報告」

◎シンポジウム②「妊娠・産褥期
のうつ病に対する職種間連携の役
割と問題点」

◎シンポジウム③「出生前診断」

◎シンポジウム④「新生児虐待の
発生メカニズムと養育支援ーより
よい制度の構築に向けて」

●問い合わせ先

日本周産期メンタルヘルス学会事
務局

〒514-8507 三重県津市栗真町屋
町 1577 三重大学保健管理セン
ター内

HP：http://pmh.jp/index.html